

2026年度基本方針

当連盟は、全国の実業団加盟団体の支援と関係団体の協力の下に、時代の変化に柔軟に対応した活動を進めて行く。

また、(公財)日本バレーボール協会と連携し、バレーボール競技発展のため、加盟団体代表委員総会、加盟団体連携会議並びに各専門委員会における活動を通して、緊密な連携と事業協力をもって、バレーボールの普及・振興に努める。

1. 競技会について

日本実業団連盟、日本クラブ連盟等の枠を超えた大会開催を模索し、(公財)日本バレーボール協会をはじめとする全国の都道府県協会と積極的な連携をもって、事業を推進する。

(1)9人制バレーボールについて

- ①「JVA全日本バレーボール実業団選手権大会9人制男子・女子大会」は、男女同時開催を目指す。
- ②「JVA全日本バレーボールトップリーグ9人制男子・女子大会」は、男子については10チーム編成とし、競技力向上とリーグの成長を目指し、男女ともチームのホームゲーム方式として全国各地で開催する。

(2)6人制バレーボールについて

- ①「全日本6人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会」は、新たに新設される新社会人リーグチームの参加を促して大会の充実を図る。
- ②「JVA全国バレーボール総合リーグ優勝大会」は、日本バレーボール協会の補助事業として上位リーグ(新社会人リーグ)に続く大会として実施し、全国ブロックの基盤層チームの参加・拡充を図る。

2. 組織基盤並びに財政基盤の強化による事業推進について

(1)組織基盤の強化

組織基盤の強化に繋がる「選手及びチームの登録数の増加」のために、加盟チームの選手・チームスタッフの登録増員に取り組む。

(2)財政基盤の強化

財政基盤は、都道府県実連分担金、JVA個人登録料(MRS)、団体(企業)・個人協賛金であり、健全な財政基盤を図る。

3. 体罰・暴力・ハラスメントを撲滅し、バレーボールのつなぐ力を育み、お互いの考えを尊重し、ひとの“つながり”を大切にする魅力あるバレーボールを目指す。